



平成 27 年 11 月 5 日

上場会社名	中部鋼板株式会社
代表者	代表取締役社長 太田 雅晴
(コード番号)	5461)
問い合わせ先責任者	専務取締役 武田 亨
(TEL)	052-661-3811)

通期業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）及び 配当予想の修正（期末配当）に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 11 月 5 日開催の取締役会において、平成 27 年 5 月 1 日に公表した通期業績予想の修正並びに、平成 27 年 9 月 30 日を基準日とする剰余金の配当及び期末配当予想の修正を、下記の通り行うことを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	41,900	2,500	2,600	1,600	53.34
今回修正予想(B)	38,000	3,400	3,500	2,200	73.34
増減額(B-A)	△3,900	900	900	600	
増減率(%)	△9.3	36.0	34.6	37.5	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	43,390	2,330	2,390	1,461	48.71

平成 28 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	37,200	2,100	2,200	1,400	46.67
今回修正予想(B)	33,200	3,100	3,100	2,000	66.67
増減額(B-A)	△4,000	1,000	900	600	
増減率(%)	△10.8	47.6	40.9	42.9	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	38,146	1,985	2,074	1,298	43.29

修正の理由

当社グループの主力製品である厚板の販売数量及び販売単価が、主需要先の在庫調整の影響等により、当初の想定を下回り、売上高は当初予想を下回る見通しであります。しかしながら、主原料である鉄スクラップ価格が当初の想定を下回って推移する見込みであり、利益は当初予想を上回る見通しであります。

以上により、平成 27 年 5 月 1 日公表の平成 28 年 3 月期通期業績予想を上記の通り修正いたします。

●剰余金の配当（中間配当）、配当予想（期末配当）の修正について

1. 剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成27年5月1日公表)	前期実績 (平成27年3月期)
基準日	平成27年9月30日	同左	平成26年9月30日
1株当たり配当金	円 銭 6.00	円 銭 5.00	円 銭 4.00
配当金総額	179百万円	—	119百万円
効力発生日	平成27年12月1日	—	平成26年12月1日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 配当予想（期末配当）の内容

	年間配当金		
	第2四半期	期末	合計
前回予想 (平成27年5月1日発表)	円 銭 5.00	円 銭 —	円 銭 —
今回修正予想	—	8.00	14.00
当期実績	6.00		
前期実績 (平成27年3月期)	4.00	6.00	10.00

修正の理由

当社は、利益配分につきましては、安定的な配当に意を払いつつ、業績に見合った弾力的な配当を実施していくことを基本方針としております。

平成 28 年 3 月期の中間配当金につきましては、現下の状況に鑑み、直近の配当予想から 1 株当たり 1 円増額することといたしました。

また、期末配当金につきましても平成 27 年 5 月 1 日付けで「未定」と公表しておりましたが、平成 28 年 3 月期の業績予想等を総合的に勘案した結果、1 株当たり 8 円といたします。これにより、年間配当金は、中間配当金 6 円と合わせて 1 株当たり 14 円となる予定であります。

(注)本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。